

収蔵庫 国宝障壁画 その他

国宝に指定されている大小の襖絵の絵画や、僧侶や他の作家によって書かれた貴重な古文書を含む多くの文化財は、真言宗の智山派の総本山である智積院に保存されています。最も有名な作品は「桜図」と「楓図」です。桃山時代（1568-1600）に長谷川等伯の一派が描いた壮麗な襖絵です。智積院に保管されているその他の作品には、「松に秋草図」（国宝）、「松に黄蜀葵図」（国宝）、「松に梅図」（重要文化財）、「雪松の図」（国宝）などがあります。これらはすべて桃山時代（1568-1600）の壮大さと素晴らしさの精神を伝えています。